

学校パワーアップのための基本方針・各事業内容		
◎主体的にねばり強く課題に取り組む児童の育成 【児童】・学習意欲の喚起 ・基礎基本的学習内容の定着 【教員】・授業力、指導力の向上 ○豊かな感性と創造性を育む教育 ○運動への関心及び体力の向上		
学力向上マニフェスト	創造力あふれる教育の推進	未来を拓く子どもの育成
○授業力の向上 ・外部講師による研修会を通して授業力の向上(理科) ・生活科・理科関係における学習意欲及び資料活用力の向上 ○基礎・基本の定着 ・個別指導の充実 ・放課後学習、「あらかわ寺子屋」の充実 ・家庭学習の定着 ○学習意欲の向上 ・デジタル教科書等を有効活用した分かりやすい授業 ○思考力・活用力の育成 ・学習意欲を高める教材により主体的に学習に取り組む態度の育成	○英語教育の充実 ・TGGの活用による英語学習意欲の向上 ・読み、書きに活用できる教材教具の活用 ・研究授業及び専門家による指導(新学習指導要領に基づく授業改善) ○授業力の向上及び児童理解のための研修会 ・研修会を通して教員の指導力の向上及び児童理解の向上 ○学校図書館の充実 ・読書バッジで読書量の増加 ・ブックボランティアとの連携 ○朝遊びの奨励 ・運動への関心意欲の喚起 ・体力の向上 ○基礎基本の定着 ・視覚的教材で基礎基本の定着 ○東京オリンピック・パラリンピック教育の推進 ・障害者理解の推進 ・オリンピック・パラリンピック選手の招聘とノートの活用	[未来を拓く子どもの育成] ○伝統文化(箏)に親しむ(継続) ・伝統楽器(箏)に触れ、音楽の表現活動の充実 ○学校図書館利活用の充実(継続) ・赤土小学校図書館ノートの活用 ○赤土小大好きっ子の育成(継続) ・「なでしこ」の栽培による愛校心の醸成

令和元年度全国・東京都・荒川区学力調査に関する結果(平均正答率:%)
 区学力調査(全学年)

	1年		2年		3年		4年			
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	社会	算数	理科
自校	81.3	83.8	82.8	86.6	77.1	74.0	65.4	65.8	78.5	62.4
区	74.5	80.7	84.2	87.3	76.5	77.2	68.8	68.9	77.9	62.8
区との比較	6.8	3.1	▲1.4	▲0.7	0.6	▲3.2	▲3.4	▲3.1	0.6	▲0.4
	5年				6年					
	国語	社会	算数	理科	国語	社会	算数	理科		
自校	72.1	58.5	67.5	67.3	69.6	62.1	63.0	58.7		
区	73.6	57.5	67.4	64.8	71.0	67.6	66.5	61.5		
区との比較	▲1.5	1.0	0.1	2.5	▲1.4	▲5.5	▲3.5	▲2.8		

都学力調査(5年)

	国語	社会	算数	理科
自校	69.1	64.5	59.0	57.3
東京都	67.0	66.3	60.0	56.6
都との比較	2.1	▲1.8	▲1.0	0.7

全国学力・学習状況調査(6年)

	国語	算数
自校	57	61
全国(公立)	63.8	66.6

※自校は整数、全国(公立)については小数で公表され、正確な差を導くことができないため比較については表記しません

(様式2)

令和2年度 学力向上マニフェスト

学校名 荒川区立赤土小学校

事業名	取組の内容及び目標 (昨年度の区学力調査等の結果・分析等を踏まえて)
○授業力の向上	【内容】区学力調査の結果から、「自然事象への関心・意欲・態度」と「観察・実験の技能」を一層の伸ばすための指導方法を工夫する必要があることが明らかになった。専門家からの指導の下、全学年で授業改善を実施する。 【目標】 ・1学期と2学期の学習到達度を比較し、単元テスト等の学力調査を行い、平均到達度80%を目標とする。 ・区学力調査(理科)の再テストで区平均を超える。
○基礎・基本の定着	【内容】授業、算数習熟度別学習及び家庭学習にてe-ライブラリーを導入することにより、個に応じた指導の充実及び基礎基本の定着を図る。 【目標】 ・e-ライブラリーを家庭学習で活用する児童数を全児童総数の7割を目標とする。 ・区学力調査(算数)の再テストで区平均2ポイントを超える。
○学習意欲の向上	【内容】授業改善の一つの柱としてデジタル教科書を活用した分かりやすい授業、学習意欲が向上する授業を目指す。 【目標】 デジタル教科書を1日1回以上活用し、学校関係者評価「わかる授業」について肯定的評価が8割を超える。
○思考力・活用力の育成	【内容】学習意欲を高める教材を活用して、児童の思考力・活用力を育てる。 【目標】 ・区学力調査(算数)の再テストで「数量や図形についての技能」が区平均2ポイントを超える。
あらかわ寺子屋	【内容】 ・学力の課題のある児童の放課後補充学習 ・週1回(高学年1時間、低学年1時間)実施 ・東京ベーシックドリル、e-ライブラリー及び自作教材を活用 【目標】 ・参加児童の区学力調査(国語・算数)の区平均到達度を目標とする。